


SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項			基本	チャレンジ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●	雇用条件等で差別をしないことを経営陣が意識して活動をしている。また、万が一業務上で差別的な扱いがあれば本部のコンプライアンス課に相談ができる体制としている。				4.4	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●	就業規則やコンプライアンスマニュアルにハラスメントの禁止を明記している各店にハラスメント窓口担当者を配置している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8									16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●	勤務時間の弾力化を行い、出勤時間、退勤時間を3通りから選択できる取扱いとしている年に1回、連続5日間休暇を取得できる「リフレッシュ休暇」の制度を導入している										8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●	当金庫には外国人労働者はいないが、取引先の外国人労働者が来店した際にも日本人のお客様と同様に対応を行うとともに、外国語による注意事項を記載したパンフレットを交付する等、利便性の向上にも努めている				4.4						8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●	業務中の事故等には十分気を付けるよう定期的に注意喚起を行っている。										8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●	年に1回産業界によるストレスチェックを実施している。																			
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●	くろみんを取得している					5.1 5.5					8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●	資格取得試験の金庫による受験料負担や、資格取得一時金の支給等積極的な自己啓発を奨励している 庫内研修の開催や外部研修への派遣を行っている					4	5.5				8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●	関係法令の内容を理解し、従業員の公正な待遇を行っている						5.5				8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる	●											8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●											8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●											8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●	廃棄物については業者に依頼し適切に処理している												11.6	12.4		14.1				
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●	LED照明の導入や社用車のハイブリッドカーの導入によりエネルギー利用の効率化に取り組んでいる								7.3							13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●	CO2排出量の把握はできていないが、こまめな電源のオンオフ等、電気機器の効率的な稼働やハイブリッドカーの導入等、CO2排出抑制に取り組んでいる。								7.2 7.3					12.4	13.3					
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●	当金庫が業務上有害化学物質を扱うことはないが、機器や設備の導入の際にはそのようなものをできるだけ使用しないよう気を付けている					3.9		6.3					11.6	12.4						
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●	地域の清掃活動等に積極的に参し、環境保全に取り組んでいる							6.6										15		
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●	各種システム化を進め、ペーパーレス化の推進を積極的に行っている														12.5		14.1			

作成日：令和 3年 9月 22日 企業・団体名： 晴多信用金庫

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●						6.4 6.6													
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している	●				3.9			6	7				12	13.3	14	15				
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●												12.6							
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●								7.2						13					
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●													12.2	13	14	15			
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●				1	2			6.4					12.3 12.5		14	15		17	
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●			不祥事件の未然防止のためコンプライアンス勉強会を月次で開催している																
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		不祥事件の未然防止のためコンプライアンス勉強会を月次で開催している																	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●			知的財産については当金庫の業務上該当がない																
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		個人情報については各種規程、要領に厳格な取扱いをすることを定め、本部による定期的なチェックを行っている																	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●																			
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	●						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●				3.9									12.4						
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		顧客クレーム等は専門の部署が対応し、内容を全店に還元する等してサービスの向上に取り組んでいる																	
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●			事務用品等は環境に配慮した製品を購入するよう勧奨している																
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している	●							6.1 6.6	7					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																									
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		営業活動を通じて地域との対話は常時行っており、影響についても把握し、適切に対応している					4										9		11	12		14	15			17		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●							4														11			14	15			17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外銷に努めている	●																			8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内浸透している	●		コンプライアンス規定や勉強会の開催により法令遵守の意識は職員のなかでは浸透している																								16		
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		経営理念を明文化し、ディスクロージャー誌に掲載し金庫内外に発信している。																8	9								17	
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		総務部が地域、環境への影響に対応する部署としている																								16		
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		営業店の店舗長や渉外係は顧客と面談時間を多くとり、苦情を含め、顧客の声を大切にしている																							16	17		
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	●																										16		
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●																										16		
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	●																										16		
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型コロナウイルスなどに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる	●																					9		11		13 13.1		16	
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																			8	9							17		
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		ハザードマップを食堂等に掲示しているほか、危機管理のプロジェクトチームを立ち上げ、避難訓練や関連規程の整備等に取り組んでいる					4													11.5		13.1			16			
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている	●			1.5		3	4															10.2	11.5		13.1		16	17	
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、Uターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している	●							4.4											8.5 8.6							17			
	53	【中山間地域を意欲した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している	●																			8	9		11						